古都・事・言　3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

NO.195
2023年8月号
TEL：075-601-0668
こと京都株式会社

言葉で感じる季節

葉月（はづき）

今年仲間に加わった農人たちも日毎に黒くなってきています。毎年、京都の暑い夏を乗り切れるかどうかがひとつの山場ですが、仲も良くて、乗り越えてくれると思わされ心強いです。

８月の異名、夏真っ盛りではありますが、８月７日には「立秋」を迎えることもあり、暦の上では秋が訪れます。
次第に暑さが落ち着いてゆき、ちょっとした秋の気配を感じられる頃でもあります。
夏空のもとで青々しくすらっと育つねぎたちも、秋冬に向けて移ろいゆく表情の変化が楽しみです。

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

今月より夏葱のお届け始まりました

８月は、丹後・美山・亀岡がメイン圃場となります。
今年の梅雨は適度に雨が降りました。５月上旬頃に定植を行った苗は、その雨をもらって順調に生育していき、例年同様少し早めに収穫適期を迎えるものもありました。ただ、圃場が乾かず畝立てが遅れることもありました。８月は梅雨も明け、畝立ての条件は整いますが、定植には気温が高く適しておらず悩ましいことも。作付け計画を変更する必要があるので、産地リレーしている各地域でやりくりして夏場の安定供給に努めています。

KOTO GROUP 4A

夏葱

農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

収穫を迎える畑も、踏まれたり掘ったり荒らされることも多々あります…

＼ひまわり栽培で地域の方に喜んでもらいたい／

ねぎ栽培の為に、土に漉き込む緑肥として実施しているひまわり栽培。昨年、道行く人たちからも好評いただいたので今年も栽培！今回は、背丈が１ｍほどの観賞用に最適な品種。８月中旬～末頃、京都の向島エリア「蓮池」の畑にて！

去年は背丈よりも高いダイナミックなひまわりでした!

ひまわりや九条ねぎの無人販売も好評でした♪

獣害の被害にも悩まされる夏

美山では例年以上に獣害に悩まされた年になりました。
定植を終えた圃場に鹿や猪が侵入し、苗を食べたり、マルチにも足でたくさんの穴をあけていきます。多いところでは、３度も定植し直した畑もあります。また、マルチの穴から草が生えてきて、この時期の草の伸び具合はスピードがあるので、その対処にも追われることになりました。美山メンバーだけでは対処しきれないので、他地域からの応援でなんとか管理を行うことができています。同じ畑で何度も定植を行うのはなかなか心身ともにきますが、これも「美味しいねぎを皆さんに届ける為」と、農人一同協力し、なんとか踏ん張れています。

踏み荒らされて穴が空いたり、先端だけかじられたり

とある日の農人日記。

市内メンバー総出で草引きを実施。１つの畑に全員揃って業務を行うのはおそらく今年初めてで、実習生の成長が肌で感じられたり休憩時間も有意義に過ごせました。チームワークの大事さを再認識できました。（市内エリア・池島）

1DAY 350g 野菜を食べよう プロジェクト

こと京都は「野菜を食べよう」プロジェクトのサポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組みます。